

## 2015 年度 JIP 報告書 (韓国：慶南大学)

外国語学部 日本語専攻 國吉 菜月  
外国語学部 日本語専攻 杉山 巴都沙

派遣先 慶南大学校  
派遣期間 2016 年 3 月 6 日～3 月 26 日 (20 日間)

### ▼費用

国際交流基金助成額 488,292 円  
大学助成額 185,358 円  
学生自己負担 50,000 円  
日本交通費 6,600 円  
韓国交通費 空港～馬山駅 850 円 馬山～空港 850 円  
現地タクシー代 約 10,000 円 (学校～ホテル 片道：約 450 円)  
生活費 約 60,000 円

☆生活費・交通費以外は国際交流基金と大学から支援して頂いた。

### ▼大学までのアクセス

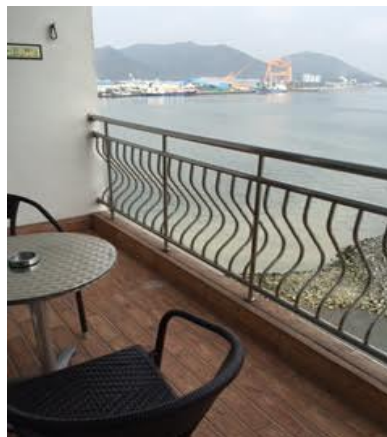
毎日タクシーで通学した。料金は約 450 円で約 10 分ほどで学校についた。正門から講義を受ける建物までかなりの距離があるのでホテルを早めに出た方が良かったらう。

### ▼空港からホテルまで

金海空港～馬山駅 850 円 馬山駅～ホテル 500 円

### ▼宿泊先：馬山観光ホテル

部屋からは海が見えるとても綺麗なホテルだった。Wi-Fi も設備されており困ることはなかった。ホテルの近辺には、コンビニやマートがあり便利だった。



▼受入機関の状況

現地受入大学名：慶南大学 日本語教育学科

	月	火	水	木	金
9:00-9:50		日本語会話	日本語聞き取り I	日本語聞き取り II	
10:00-10:50					
11:00-11:50		日本語音声学			
12:00-12:50	日本語講読		基礎日本語	日本語作文	日本語会話
13:00-13:50		基礎日本語			
14:00-14:50		日本語聞き取り I		日本語文法	
15:00-15:30					
16:00-16:50	日本語作文		日本語講読		
17:00-17:50				日本語音声学	

※3月21日だけ18時から21時まで日本語検定講座を参観した。

実習した授業

3年生日本語会話 各50分 (杉山)『日本と韓国の違い』  
(國吉)『若者ことば』

2年生日本語会話 各20分 (杉山)『日本と韓国の言い方の違い』  
(國吉)『N+のとき』

日本語作文 各20分 (杉山)『～しながら～』  
(國吉)『動詞+とき』

▼その他

- ・韓国の食事は大体が辛いので、辛いのが苦手な人は日本からカップラーメンなどを持っていったほうがいいと思う。(部屋にポットはあるが、電子レンジはない。タオルやドライヤーシャンプーなどはあった。)
- ・正門から講義棟まで坂道や階段が続くため、歩き慣れたスニーカーで通学したほうがいい。
- ・両替は、日本でするより韓国でしたほうがレートがよかった。
- ・ホテルの周りにはランドリーがないため洗濯物は毎日手洗いをした。洗濯物を干す紐やハンガーなどがあると便利だろう。(洗濯物は大体1日あれば乾いた。)

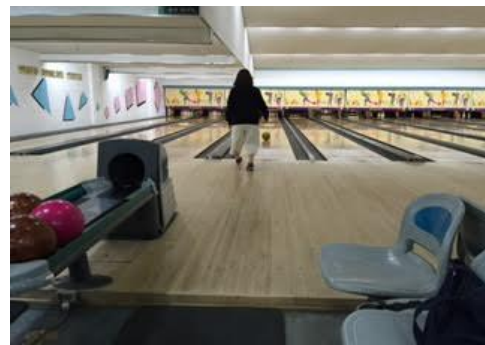
- ・ 韓国の食べ物は刺激が強いため、お腹の弱い人は飲みなれた薬を持っていくといいだろう。
- ・ 学校を出ると日本語が通じないため、簡単な日常会話やハンゲルが読めたほうがいいだろう。

#### ▼授業以外の活動

現地の学生たちに、韓国ならではの食事に連れて行ってもらった。また、休日には、ボーリングに連れて行ってもらったり、放課後には校内にあるコートで、バドミントンをしたりした。

自分たちでは、休日に釜山に買い物に行った。釜山にも安く行くことができる。釜山に行っても韓国語しか通じないので大変だった。

学生たちはみんないい人ばかりで食事など困ることはあまりなかった。学生のほうから誘ってくれるので、楽しく過ごした。



## ▼感想

(杉山)

日本では当たり前に使っていることば一つでも現地の学生に質問されると上手く説明できなかつたりしたことが何回かあったので、私は、今回のプログラムを終え、自分の知識不足を考えさせられました。また、現地に行ったからこそ、自分のダメな部分をたくさん見つけることができたし、うまく説明できなかつた悔しさを何度も経験することにより、自分自身が失敗することを恐れなくなったと思います。途中でくじけそうになったことがありましたが、現地の先生や学生にたくさん助けをもらい、最後まで頑張ることができました。20日という短い期間でしたが、日本にいたら経験できないことをたくさん勉強でき、学ぶことができたので、参加することができて良かったと思います。

(國吉)

実際に外国へ行って外国人に日本語を教えるのは、初めてで実習の前日は緊張と不安でいっぱいだった。でも、何回か授業するたびに慣れていき、学習者の顔を見る余裕ができ、雑談なども入れられるようになった。学習者も黙らずに発言する子がたくさんいて楽しく授業をすることができた。

だけど、いいことばかりではなく、学習者や先生方に質問されたら、すぐ答えられないことがあり、すごく悔しく勉強不足だということを痛感した。だからと言って、わからないままにせず、先生に聞いたり、自分たちで調べたりして知識を増やしたいという気持ちで励んだ。

また、韓国に行く前は20日間とても長いと思っていたが、現地に着き、実習を行うと、とても早く感じあつという間だった。この20日間は私にとって大学生活のなかで、とても充実し、めったにできない経験ができたので、JIPというカリキュラムに感謝している。ぜひ、日本語教員になりたいと思っている人や興味のある人は参加してみてください。